

GAPに取り組みましょう!!

良い 農業の 実践
GAPとは、Good Agricultural Practice

- 農業者の皆さんは、**農薬の適正使用**に心がけ、**生産履歴を記帳**するなど、すでに「**食品安全**」対策に取り組んでいることと思います。



- 「食品安全」に加えて、持続的な農業を行っていくための「**環境保全**」、基本的事項である「**労働安全**」に取り組むことにより、より良い農業を実践していくことが**GAP**です。



- GAPとは、**経営者としての自信と誇り**にもつながる、まさに「**より良い農業への道しるべ**」と言えます。

GAP = **食品安全** + **環境保全** + **労働安全**

農業経営者としての
「**自信!**」と「**誇り!**」



今こそGAPが必要です!

- ★2020年オリンピック・パラリンピック東京大会での農産物の食材調達基準では、①**国際水準GAP**(グローバルGAP、アジアGAP、JGAP)、②**とちぎGAP**で県の第三者確認を受けたものが要件とされています。
- ★大会を契機として、**大手流通業界から、GAPに取り組んでいる農産物を求める動きが大きく加速**することが考えられています。
- ★栃木県は、**30年4月から「とちぎGAPの第三者確認」をスタート**しました。

GAPとは、こんな取り組みです……

ステップ
1

基本は「農舎の整理整頓」と「生産履歴の記帳」から!



生産履歴にそのつと記録

ステップ
2

点検項目に従って、農場内を点検しよう!

いつもやっていることですが、問題点を見つけたら改善していきましょう。
(点検項目の「いいえ」を「はい」にしましょう!)



とちぎGAPの点検シート(抜粋)		はい	いいえ
点検項目		はい	いいえ
食品 安全	農薬は、容器や包装のラベルに記載されている適用作物、使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数等を守って使用している。		
	出荷する農産物に、ゴミ、毛髪、たばこの灰や吸殻、ガラスなどの異物が混入しないようにしている。		
環境 保全	農薬の散布液を調製する際には、使用残が発生しないよう、必要な量だけ作成する。		
	農薬の空容器は、地域協議会やJAの回収または産業廃棄物処理業者等を利用して処分している。		
労働 安全	農薬散布作業者は、ラベルの指示に従って、農薬用マスク、ゴーグル、ゴム手袋、防護服、ゴム靴等を着用している。		
	作業者に、農場内の危険箇所や危険を伴う作業について、事前に説明したり、目立つ場所に注意書きで表示するなど、事故防止に努めている。		



注意事項

1. 関係者以外立入禁止!
2. ハウス内での飲食禁止!
3. 持ち込んだ道具は必ず持ち帰る
管理責任者 ○○○○

JA生産部会で「とちぎGAP」に取り組み、県の第三者確認を受けましょう!

..... お問合せは、最寄りのJA営農窓口へ